

広島市立北部医療センター安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	実臨床での胆嚢癌に対する腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術の手術手技とその成績
研究責任者 (所属科名)	小橋俊彦（肝胆膵外科）
本研究の目的・意義	胆道癌診療ガイドラインでは、胆嚢癌を疑う症例は原則として開腹手術を行うことを提案していますが、本邦では2022年4月に腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)が保険収載され、一定の施設基準を満たす施設において施行可能となっています。当院も当該手術認定施設であり、胆嚢癌に対し同手術を導入しております。ただ胆嚢癌に対する腹腔鏡手術は全国的にもまだ十分なデータがなく、当院の症例で調査することとしました。
調査方法・調査期間	2024年1月から当院で導入した胆嚢癌に対する腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術を施行した症例の臨床病理学的特徴と治療成績、腫瘍学的転帰を、電子カルテデータより後ろ向きに、腹腔鏡手術導入以前の2010年1月から2024年10月までの胆嚢癌開腹手術と比較し検討しました。 研究期間：倫理委員会承認後～2029年12月31日
該当資料・データ	★対象となる患者様

	対象期間に治療を行った 105 名の方が対象です。 ★利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録から手術方法や、検査データ等を利用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話 082-815-5211(代) 肝胆膵外科 部長 中川直哉
備考	